

A Shorter Course in Everyday Conversation

5 分間 英会話決まり文句 140

Hidehiko Konaka



NAN'UN-DO

はじめに

国際化社会において、英語4技能のうちの「聞く」「話す」の2技能が持つ意味合いはますます大きくなっています。この2技能の基礎を築くためには、日常生活でよく使われる会話独特の「決まり文句」の習得が不可欠になります。本テキストはその日常生活でよく使われる「決まり文句」にスポットライトを当て、それらを習得することを目標に編集されています。

本テキストは20のレッスンで成り立ち、どのレッスンも同じ構成になっています。各セクションについて簡単に説明しておきます。

LET'S LEARN

日常よく使われる日常会話の決まり文句です。何度も音読して、会話表現を自分のものにしておきましょう。日本人が会話表現を聞き取るための豆知識もついています。

LET'S TRY

- [A] 日本語をヒントに表現を完成させる「表現完成問題」です。
(LESSON 01-10 はカッコを、LESSON 11-20 は下線部を埋める問題です)
- [B] 対話をヒントに適切な表現を選ぶ「表現選択問題」です。
- [C] 対話をヒントにカッコを埋める「表現完成問題」です。
- [D] 日本語を英語に直す「表現作文問題」です。

本テキストの編集にあたり、各種辞書類、会話教本など数多くの文献を参考にさせていただきました。本テキストはこれらの文献に負うところが多いことを記して謝辞といたします。

本テキストによって皆さんが英会話を学ぶ楽しさを感じ、さらに自主的に英会話を学んでみようという気持ちになってくれれば、これにすぎる喜びはありません。心から皆さんの健闘を祈っています。

最後になりましたが、本テキストの編集・出版にあたり、いろいろお世話になった南雲堂の加藤敦氏に深く感謝いたします。また、Michael P. Critchley氏にすべての英文をていねいにチェックしていただき、適切なアドバイスもたくさんいただきました。ここに記して感謝の意を表します。

小中秀彦

A Shorter Course in Everyday Conversation

Copyright © 2024
By

Hidehiko Konaka

All Rights Reserved.

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

目次

LESSON 01	YOU 中心の会話表現	6
LESSON 02	命令文の会話表現 (1)	8
LESSON 03	WHAT 中心の会話表現	10
LESSON 04	主語 I の会話表現 (1)	12
LESSON 05	名詞中心の会話表現 (1)	14
LESSON 06	主語 IT の会話表現	16
LESSON 07	主語 I'M の会話表現	18
LESSON 08	否定命令文の会話表現	20
LESSON 09	主語 THAT の会話表現	22
LESSON 10	形容詞・副詞中心の会話表現	24
LESSON 11	LET'S・PLEASE 中心の会話表現	26
LESSON 12	命令文の会話表現 (2)	28
LESSON 13	HOW・WHY 中心の会話表現	30
LESSON 14	主語 I の会話表現 (2)	32
LESSON 15	名詞中心の会話表現 (2)	34
LESSON 16	主語 YOU の会話表現	36
LESSON 17	助動詞中心の会話表現	38
LESSON 18	副詞中心の会話表現	40
LESSON 19	主語 I'LL の会話表現	42
LESSON 20	命令文の会話表現 (3)	44
INDEX		46

● LET'S LEARN



008 Be my guest. どうぞご遠慮なく／(勘定を)私持ちにさせていただきます。

A: I would just love to have some more cake, but there is only one piece left. (もう少しケーキをいただきたいけど、でも1つしか残ってないわ)

B: *Be my guest.* (どうぞご遠慮なく)

009 Excuse me. ちょっと失礼／ごめんなさい。

A: *Excuse me.* Could I get past? (ちょっと失礼。通していただけますか?)

B: Sure. (どうぞ)

* < excuse → 'xcuse >のように、あいまい母音は消えたように聞こえることがある。

[例] Excuse me. (ごめんなさい) → 'xcuse me.

* 相手のことばがよく聞き取れなかったとき、Excuse me? と上昇調で用いると、「何と言いましたか? ; もう一度おっしゃってください」という意味になる。(I) Beg your pardon? とも表現できる。

010 Go ahead. どうぞ／やっていいよ。

A: Can I turn on the air conditioner? (エアコンつけてもいい?)

B: Sure. *Go ahead.* (いいよ。どうぞ)

011 Guess what! ねえねえ／何だと思う?

A: *Guess what!* Ed got married to Mary. (ねえねえ。エドがメアリーと結婚したのよ)

B: Really? I can't believe it. (本当?信じられないわ)

* 相手が驚くようなことを伝える前に、相手の注意を引くために使う。言われた方は、What? と言うか、黙って相手の顔を見てその先を言うのを待つ。

012 Help yourself. ご自由にどうぞ。

A: Can I have one of these doughnuts? (ドーナツ1つ食べてもいい?)

B: *Help yourself.* (どうぞご自由に)

* 「A [食べ物・飲み物] を自由にどうぞ」は Help yourself to A. と表現する。

013 Take your time. ごゆっくり。

A: I'll change and be ready in fifteen minutes. (15分で着替えて用意するから)

B: *Take your time, Matilda.* (マチルダ、ごゆっくり)

014 Wait a minute. ちょっと待って。

A: *Wait a minute, Jim.* I need to buy some water. (ジム、ちょっと待って。お水、買わなきゃ)

B: *Take your time.* We've got lots of time. (どうぞごゆっくり。時間はたっぷりあるから)

* Just a minute. とも表現できる。

■ LET'S TRY

[A] 日本語をヒントにカッコを埋め、表現を完成させなさい。

- (1) 何だと思う? () () !
 (2) やっていいよ。 () () .
 (3) ごゆっくり。 () () () () .
 (4) ちょっと待って。 () () () () .

[B] 下線部に入る適当な表現を選びなさい。

- (5) A: Can I say a few words before dinner?
 B: Of course! _____
 (A) Be my guest. (B) Wait a minute.
 (C) Help yourself.
- (6) A: Do you have any cola?
 B: Yes, it's in the fridge. _____
 (A) Guess what! (B) Help yourself.
 (C) Take your time.

[C] カッコを埋めて、表現を完成させなさい。

- (7) A: Could you pass me the mustard?
 B: () () ? I couldn't hear you.
- (8) A: () () ! I got the prize. A trip to Miami.
 B: Really? I can't believe it.
- (9) A: Please () () () some more turkey.
 B: Thank you.

[D] 日本語を英語で表現しなさい。

- (10) A: ちょっと待って。着替えなきゃ。

B: どうぞごゆっくり。
